

MTT035-P03

会場:コンベンションホール

時間: 5月24日17:15-18:45

時空ナビ～アナログ地図とデジタル地図を融合させた展示システム

Cart-Time Navigator - Fusion of Digital and Analog Map

津沢 正晴^{1*}, 森田 圭¹, 小林 政能¹, 佐野 誠², 田邑 元基³

Masaharu Tsuzawa^{1*}, Morita Kei¹, Kobayashi Masayoshi¹, Sano Seiichi², Tamura Motoki³

¹財団法人日本地図センター, ²株式会社ハヤト・インフォメーション, ³非接触テクノロジー株式会社

¹Japan Map Center, ²HAYATO Information Co.,Ltd., ³Hisessyoku Technology Co.,Ltd.



財団法人日本地図センターは、iPhone とIC タグを活用しアナログ地図とデジタル地図を融合させた新展示システム「時空ナビ」を開発した。本システムは、大ホールの床面に敷いた巨大な地図の下に13.56MHz 帯のIC タグ(RFID)を敷き詰め、地図上にいる来場者が専用リーダでRF タグを読み込むことで地図上の位置を把握し、iPhone などの携帯端末に読み込んだポイントの航空写真をリアルタイムにデフォルトで表示させ、また異なる時代の地図も切り替えて表示可能なシステムとなっている。日本大学文理学部学術展における展示用に、財団法人日本地図センターの構想を元に、ハヤト・インフォメーション社・非接触テクノロジー株式会社と共同開発した。

本システムの特徴は以下の通りである；

1. 閲覧者の位置をピンポイントで把握

床に敷き詰めた1880年代の地図(縮尺 1/2,500)の下に1.1万枚のRFID タグを張り付け、閲覧者が専用のリーダで読取ることによって地図上の位置をピンポイントで把握する。

2. 複数種の携帯端末で地図情報を確認できる

閲覧者は専用の杖型RFID リーダと携帯端末を持ち、杖型リーダで地図のIC タグを読取り、その地図上の場所と参照した現在の町名とオルソ空中写真が表示する。携帯端末は、タッチパネルを付けた小型ノートPCからiPhoneまで、大小様々なタイプを用意し各々の得失に応じて使い分ける。

3. 携帯端末では地図の切替、拡大縮小などが可能

携帯端末に表示される地図では、簡単な操作で異なる時代(明治から現在までの7時期)の地図への切り替えや、拡大・縮小が可能。なおiPhone 端末では電子コンパスを利用し、床の地図と常に同じ方位で地図が表示される。

キーワード: ICタグ,デジタル地図情報,オルソ空中写真,旧版地図

Keywords: IC-Tag, Digital Geo-Spatial Data, Ortho Aerial-Photo, Old Edition Maps